

企業行動研究部会議事録（第 271 回）

日 時： 平成 31 年 3 月 11 日(月) 18:00-20:15

場 所： 中央大学駿河台記念館 3 階 310 号室

出席者： (13 名 小畑、勝田、河口、木下、銀山、熊本、小松、西藤、佐久間、出口、
菱山、松尾、峰内)

1. 連絡事項：事務連絡（理事会関連等）

第 164 回理事会報告（3 月 2 日）

- ・新入退会の件：3 名入会 3 名退会で 486 名
- ・役員候補者推薦制度の件：議論の結果、原案通り可決し検討委員会を発足した。
- ・論文規程改訂：投稿論文は未発表論文に限ることを追記
- ・シンポジウム報告
- ・研究発表大会の件報告
- ・次回理事会・研究交流例会 4 月 20 日

検討委員会（3 月 9 日）

- ・4 月 20 日理事会への提案内容が固めた

2. テーマ 1. 「持続可能な経営」の構築に向けた視点について

－最近の企業不祥事から「共感経営」を考える－・・・勝田部会員

<発表骨子>

1. 問題意識
2. 企業不祥事にみる日本企業の経営課題
 - 2-1 最近の企業不祥事にみる主な課題
 - 2-2 「品質」「サービス」を支える「現場」の実態認識の欠如
3. 「持続可能な経営」の構築に向けた視点－「共感経営」の推進
 - 3-1 「ムラ」構造からの脱却
 - 3-2 経営トップと従業員が一体となった「共感経営」の推進
 - 3-3 「共感経営」の構築・推進にあたってのいくつかの視点

<意見交換>

- ・最近の状況を見ると日本企業が病気になっていると見える。原因は日本型経営を捨ててアメリカ型ガバナンス経営なるものの無批判な受け入れにある。
- ・検査不正について言うとオーバーコンプライアンス状態になっているのではないか。
- ・有資格者による検査が規制として行われるのは日本ぐらいである。
- ・ミドルマネジメントのコミュニケーション能力がその薬、対応策と考える。
- ・従前の日本的経営、例えば QC 委員会や業務改善委員会のような活動がなくなっている。
- ・今後の外国人人材の活用や女性の活用という点でも、マネジメントのコミュニケーションが極めて重要となる。
- ・官の不正不祥事も原因は同じところにあると思う。経営の衰退と考える。
- ・検査をしなかったために何かが起こったのか。品質問題と騒ぐがそのことで何か被害が報告されているのか。
- ・制度疲労ではないか。

- ・自分は東京都の施設関連の代表を行っているが、規制規制でがんじがらめになっている。
- ・メーカーの場合と事例（役所）の件は同じには考えられない。
- ・日本政府や、役所だけの問題ではない。
- ・例えばトヨタはきちんと実施すべきは実施しており、オーバーコンプライアンスでかたづけられることは問題と考える。基準はグローバルなものは少ない。
- ・2点印象を述べたい。例えば非正規社員が4割を占める現実の解決がなければ、コミュニケーションや一体感と言っても理解が得られないのではないか？もう一点はESG投資と言われる価値経営についてその中身を知る必要（パーパスで議論すべき時代ではないか）
- ・単なる教育ではない、人材マネジメント教育会社が出来ておりこうした教育は効果がある。
- ・いろいろなレギュレーションはあるが、俺について来いというようなことは語れない。
- ・短期的な評価システム特にガバナンスに対する知見の向上が大切。
- ・こうした活動を進める事で何が成果に結びつくのか。などを提案すべきではないか。
- ・今回の報告の重点はそうした新たな取り組みをもう一度考える事である。
- ・日本の企業はルールメイキングというところに弱点があるのでは。国際基準に対峙するためには
- ・かつての行動・成長から、追いついた後のイノベーション力が弱いのではないか。サラリーマンの年収がかつて5-600万あったものが現在は400万程度となっている現実の中で同課題を見つけるべきかが重要なのではないか。
- ・ほとんどの企業が内部留保増加型、様子見、保身の経営となるのではないか。

以下略

3. 今年度の部会の進め方について

- ・AIデジタル革命のような点についても視野に入りたいと考えている
- ・GTPRのようなこともテーマとしてはどうかと考える
- ・米国ではFAANGでありGAFAとは言わない
- ・今年度の発表を月意見をテーマとして準備をしたい
- ・各位の取り上げたいテーマとしてご提言頂きたい。
- ・5月ぐらいにゴーンの不幸事を上げたい
- ・IOTに関するテーマを上げたい。個人情報なども含めて
- ・安全保障貿易などもテーマかと考える
- ・企業は現在手を打っても細かいことが亡くならない、そこをどうして行けばなくすることが出来るか
- ・かつてのグレーでののりしろ的なことが亡くなっている
- ・ラッシュのエシックスについての理念等を研究したい
- ・情報をはじめとした官公庁の不正について

以下略

4. その他

勝田部会長より、次回3月11日第2月曜日であることが確認された。終了が宣言された。

(文責:河口)